

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天神一丁目北14番街区ビル	階数	地上19F
建設地	福岡県福岡市中央区天神一丁目15	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年5月19日
敷地面積	3,050 m <sup>2</sup>	作成者	山本直
建築面積	2,282 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月19日
延床面積	39,550 m <sup>2</sup>	確認者	藤森慶弘



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

個別計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	31%
④上記+	17%

このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート(個別計算)」を参照されたい

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 明治通りと昭和通りをつなぐゲート状のプロムナード空間により、歩行者をやさしく迎入れる新たな天神地区の回遊動線を創出 天神地下街や福岡市赤煉瓦文化館といったクラシカルで風格のあるデザインを引き継ぎ、天神の景観を未来へつなぐ天神中央公園・アクロス福岡から連続する緑化軸を延伸し、潤いのあるみどりの街路空間を創出	<b>その他</b>	
<b>Q1 室内環境</b> 庇などの代わりに意匠的なデザインや冷暖房フリーシステムの空調方式を採用し、室内環境を快適に保つ	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高さや階高を十分に確保し、仕上げ材・バリアフリーなどに配慮することによりサービス性能を担保している	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の配置・形態等について周辺のまちなみに調和させている。
<b>LR1 エネルギー</b> BEMSを採用している	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 再生水を原水とする雑用水利用や下地のある部分は、分別が容易な工法を採用している	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車場・駐輪場ともに附置義務台数を満たしている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される